

令和4年 第4回岐阜県議会定例会 追加提出議案に関する説明会

1 会議の日時	<p style="text-align: right;">開 会 午後 3 時 3 0 分</p> <p>令和4年9月28日(水)</p> <p style="text-align: right;">閉 会 午後 4 時 1 5 分</p>	
2 会議の場所	議会西棟第1会議室	
3 出席者	委員	<p>猫田 孝、岩井 豊太郎、玉田 和浩、藤埴 守、尾藤 義昭、伊藤 正博、渡辺 嘉山、松村 多美夫、村下 貴夫、森 正弘、佐藤 武彦、平岩 正光、川上 哲也、伊藤 秀光、野島 征夫、水野 正敏、小原 尚、松岡 正人、山本 勝敏、田中 勝士、野村 美穂、高木 貴行、加藤 大博、林 幸広、高殿 尚、水野 吉近、国枝 慎太郎、長屋 光征、布俣 正也、広瀬 修、若井 敦子、伊藤 英生、澄川 寿之、中川 裕子、恩田 佳幸、山内 房壽、安井 忠、森 治久、藤本 恵司、今井 政嘉、所 竜也、平野 恭子、平野 祐也、小川 祐輝、森 益基 (45名)</p>
	執行部	別紙配席図のとおり
4 事務局職員	<p>議会事務局長 山口 義 樹 課長補佐 市 川 達 也</p> <p>他関係職員</p>	

5 会議に付した案件

件名	審査の結果
1 令和4年第4回岐阜県議会定例会追加提出議案について	

6 議事録（要点筆記）

提出議案に関する説明会

○議会事務局長

ただいまから、追加提出議案に関する説明会を開催する。
はじめに議長からご挨拶申し上げます。

○議長

（あいさつ）

○議会事務局長

それでは、ご案内した日程に従い、説明会を進める。
以後の進行を副議長にお願いする。

○副議長

それでは、追加提出議案に関する説明会を始める。
執行部説明員については、着座のまま、順次、役職・氏名を名乗った後、説明を行うこととしますが、
質疑応答においては、通常どおり、発言許可を受け、起立した上で応答していただくこととする。
（総務部長挨拶の後、関係次長等が資料に基づき議案の概要を説明）

○副議長

続いて、質疑に入る。
質疑は、一問一答で簡潔な質疑にご協力をお願いします。

○議員

私立学校等におけるスクールバス利用料の支援について、支援対象となる期間は。

○私学振興・青少年課長

燃料価格の高騰によりスクールバス利用料の引き上げを行った又は行う予定の私立学校等に対し、10月以降
の利用料の引上げ相当額について支援を行うものである。

○議員

貨物自動車運送事業者への燃料費支援について、どのような車が対象になるのか。

○商業・金融課長

貨物自動車運送事業の許可を受けた事業者が事業に使用するトラック等であって、黒ナンバー、緑ナンバー
の車が対象になる。

○議員

子育て世帯に対する給付金の支給について、高校生のいる世帯は申請が必要となるのか。

○子育て支援課長

中学生までの子がいる世帯へは児童手当の仕組みによりプッシュ型で支給するが、高校生のいる世帯へは市
町村から各世帯へ申請書を送付し、個別に申請いただくことを考えている。

○議員

申請書は学校経由ではなく、市町村から送付されるのか。

○子育て支援課長

お見込みのとおりである。

○議員

児童養護施設退所者への生活支援について、対象者を平成31年4月1日以降の退所者としている理由は何か。

○子ども家庭課長

令和2年1月に日本で初めて新型コロナの感染が確認され、令和元年度以降の退所者はその影響を大きく受
け、生活に支障が出ているため、同年度の4月1日以降の退所者を対象としたものである。

○議員

退所者への連絡は児童養護施設が行うのか。それとも自身で情報を得るしかないのか。

○子ども家庭課長

退所者と児童養護施設との関係を強化することを目的に、施設を経由し、手渡し等の方法で案内することを考えている。

○議員

民生委員によるアウトリーチ型支援の強化とあるが、事業で配布するパンフレットの内容は。また、パンフレットの配布はアウトリーチ型支援の強化とどのように結びつくのか。

○地域福祉課長

パンフレットは、民生委員の制度や活動内容をまとめたものとする予定で、民生委員が担当地区の各家庭を訪問しながら配布することで、支援が必要な方にアプローチをする。

○議員

民生委員が各戸配布するということか。負担がかかるのでは。

○地域福祉課長

本事業の事業化にあたっては、県民生委員児童委員協議会から強い要望があった。今年は12月に民生委員の一斉改選があるため、地域の方に新たな民生委員を覚えていただくことにもつながると考えている。

○議員

民生委員によるアウトリーチ型支援について、事業の趣旨などは理解できるが、民生委員の仕事量が非常に多いという声を聞くため、考慮いただくよう要望する。

○議員

介護・障害福祉サービス事業所における食材料費支援事業の詳細は。

○高齢福祉課介護事業者指導監

入所・通所施設における食材料費の高騰分として、費用の約10%を補助するものである。食事の回数は入所施設と通所施設とで異なるため、これを加味した支援とする予定。

○議員

エネルギー価格・物価高騰対策設備の導入支援として6億4,600万円計上されているが、メニューが、エネルギー高効率化とサプライチェーン対策の2つに分かれている。それぞれの内訳は。

○商工・エネルギー政策課エネルギー対策監

内訳は、エネルギー高効率化が3億円、サプライチェーン対策が残りの3億4,600万円となっている。

○議員

この事業は、どのようなスケジュールで進めていく予定か。

○商工・エネルギー政策課エネルギー対策監

議決いただければその後、可能な限り速やかに募集を開始する予定。また、設備の導入を支援する事業であることから、年度内の設備導入が難しいという話も聞いており、予算を繰り越すことで、納品は来年度になってもよいという計画で進めていく。

○議員

生活福祉資金特例貸付の償還支援だが、対象としている「国の償還免除要件に該当しない住民税非課税相当の方」とは。

○地域福祉課長

令和5年1月から特例貸付の償還が開始するが、国の免除要件は、令和2年または令和3年の収入が住民税非課税の場合に限られている。令和4年の1年分の収入が住民税非課税相当となる方は償還免除の対象外となるため、この方々を対象として県独自に支援を行う。

○議員

対象人数の見込みは。

○地域福祉課長

予算上、2,000人程度を対象として見込んでいる。

○議員

生活福祉資金は返済の見込みがあることを前提に貸付する仕組みとなっていると思うが、それだけの方の返済を困難と見込んで税金が支援に投入されることは、そもそも貸付自体が適切だったのか疑問に感じる。検証を要望する。

6月補正で予算化された保育所等の給食費支援は、値上げ相当額を支援する仕組みだったと記憶しているが、介護・障害福祉サービス事業所への食材料費支援の仕組みは。

○高齢福祉課介護事業者指導監

提供する食事の質が低下しないよう、補助単価を設定し、利用者数を乗じて算出した額を施設に対して支給する予定。

○議員

フードバンク団体への食料品の寄付が減っているが、冷蔵庫・冷凍庫を導入することによって改善できるのか。

○農産物流通課長

冷蔵庫・冷凍庫の導入支援については、食品ロスの観点から行うもので、青果物の供給量はこれにより確実に増えると考えている。また、加工品や冷凍食品などにも冷蔵庫・冷凍庫を有効活用いただければ、供給量は改善すると考えている。

○議員

現状、フードバンク団体は提供する食料品が少ないことに苦慮している。県社会福祉協議会に対して、低所得者への食料品等の購入費を支援する事業があるが、フードバンク団体に対してもこの支援が活用できないか。

○地域福祉課長

県内のフードバンク団体に対しても、県社会福祉協議会が必要な食料品などの支援を予定しており、県はこれを支援していきたいと考えている。

○議員

肥料高騰対策緊急整備事業費補助金の対象となる機械・施設は、具体的にはなにか。

○農産園芸課長

化学肥料の低減につながる、堆肥を利用するための散布機や一時保管施設、作物の株元に肥料を与える局所施肥機、生育に応じて散布量を調整できる可変施肥機などを対象としている。

○議員

対象となる機械・設備の購入時期はいつまでか。また、需要はあるのか。

○農産園芸課長

年度内に購入した機械・設備が対象であり、事前に行った需要調査では、130件ほどの希望があった。

○議員

それだけの需要があれば良い。今後、冬季を迎えるとハウス栽培などを行っている農家では燃料費が大きな負担になるが、今回の追加補正予算に支援策はないのか。

○農産園芸課長

燃油高騰については6月補正予算で対応しており、国のセーフティネット対策に加入している70名ほどを支援予定。また、同じく6月補正予算で計上した県単事業の省エネ設備導入支援では、ヒートポンプやハウスの内張りカーテンの導入について、1億円ほどの補助申請があったが、全て採択させていただいた。

○議員

燃料の利用が増える冬への対応はできているという理解で良いか。

○農産園芸課長

そのとおり。

○議員

子育て世帯に対する給付金の支給について、高校3年生までの子どもがいる世帯が対象とのことだが、何らかの理由で高校に行っていない場合は対象にならないのか。

○子育て支援課長

高校3年生までと表記しているが、18歳までの子がいる世帯が対象であり、高校に進学せず就職している場合でも、家庭で監護されていれば対象になる。

○議員

18歳と書けない理由はあるのか。市町村が案内を出す際に、対象者に誤解があると市町村の窓口が大変になる。

○子育て支援課長

昨年、国が実施した臨時特別給付金制度の表記を参考に記載したが、記載ぶりについては、誤解のないよう今後、検討したい。

○議員

電気料金高騰における土地改良区への支援について、土地改良区のポンプの動力は電気だけでなくディーゼルエンジンもある。ディーゼルエンジンの燃料費は対象とならないのか。

○農地整備課長

土地改良区が負担する年間の電気料金約2億3,700万円に対し、燃料費は250万円程度と、1%程度の規模であるため、今回は電気料金への支援のみとした。

○議員

額が少ないとしても電気と同様、価格高騰している。支援しないのはおかしいと思う。

○副議長

質問も尽きたので、これをもって提出議案に関する説明会を終了する。

令和4年第4回定例会 追加提出議案に関する説明会配席図

令和4年9月28日(水)本会議散会後
議会西棟3階 第1会議室

桑田 里川振興課 水産振興室長	板垣 農地整備課長	池戸 観光誘客推進課長	番場 商工・エネルギー政策 課エネルギー対策監兼 亜炭鉱廃坑対策室長	牧村 高齢福祉課 介護事業者指導監	塚腰 子ども家庭課長	谷倉 子ども家庭課 児童虐待対策監	河村 財政課管理調整監
-----------------------	--------------	----------------	---	-------------------------	---------------	-------------------------	----------------

大橋 農産園芸課長	郷 産業技術課長	浅井 企業誘致課長	佐藤 公共交通課長	森 地域福祉課長	有田 高齢福祉課長	熊谷 障害福祉課長	笠井 子育て支援課長
--------------	-------------	--------------	--------------	-------------	--------------	--------------	---------------

高木 農産物流通課長	中垣内 商業・金融課長	田口 商工・エネルギー政策 課長	朝倉 都市建築部次長	森島 医療整備課長	佐橋 生活衛生課長	安田 私学振興・青少年課長
---------------	----------------	------------------------	---------------	--------------	--------------	------------------

杉下 農政部次長	富田 商工労働部次長	渡辺 健康福祉部次長	大野 環境生活部次長	尾鼻 総務部長	三木 総務部次長	渡辺 総務部次長	高橋 財政課長
-------------	---------------	---------------	---------------	------------	-------------	-------------	------------

議 員 席						
-------	--	--	--	--	--	--

議長
副議長
議会事務局長